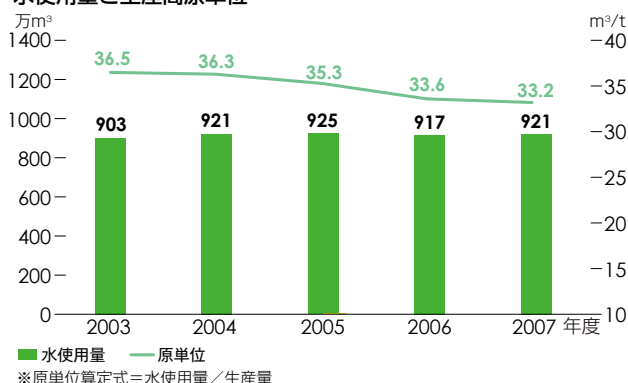


水、大気、土壌への対策

目標を上回る成果を達成

2007年度より水使用量生産高原単位で対前年度比1%削減を目標として取り組んでいます。2007年度は、目標を上回る1.2%削減を達成しました。

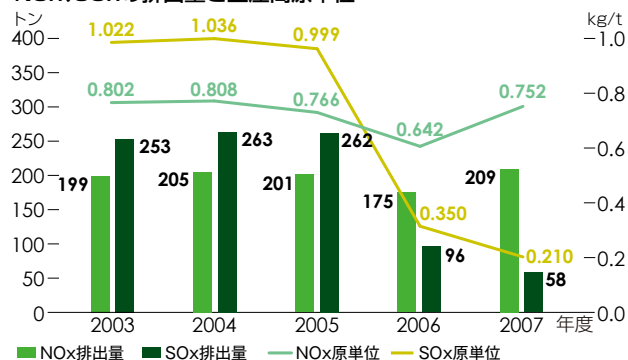
水使用量と生産高原単位



SOx排出量の大幅な削減

NOx及びSOxについては排出濃度で管理しており、法規制値は順守しています。2007年度のNOx排出量及び生産高原単位は、2006年度に比べて増えましたが、SOxの排出量及び生産高原単位は共に大幅に減少しました。

NOx、SOxの排出量と生産高原単位



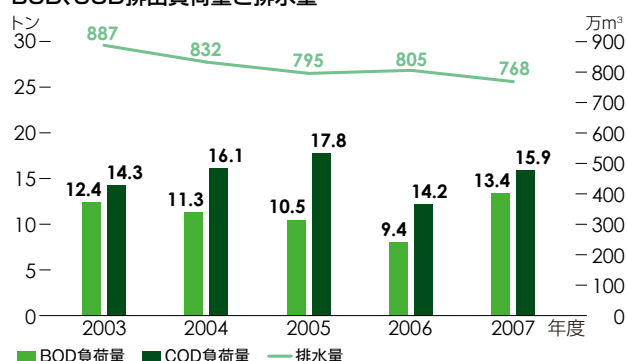
土壌汚染への対応

2006年度までに国内7事業所に観測用浅井戸を設置(水脈位置が深い長野工場は直接土壌分析を実施)。2007年度も国内全生産事業所ですべての基準をクリアしています。今後

BOD、COD負荷量の管理

2007年度よりBOD、CODは各工場で濃度による目標管理を展開しており、法規制値は順守しています。しかし、BOD、CODの負荷量は、個別排出濃度の増加により、2006年度より増加しました。

BOD、COD排出負荷量と排水量



*BOD: 生物化学的酸素消費(要求)量、COD: 化学的酸素消費(要求)量。BODは河川、CODは海や湖水の水質汚染を測る指標、値が高いほど汚染が進んでいる。
*一部の事業所における排水流量計の未整備に伴い、過年度のBOD、COD負荷量を修正しています。なお、変更に伴う影響は軽微です。

ダイオキシン類への対策

廃棄物焼却炉のある三重工場では年に1回、定期的に濃度を測定しています。2007年度も規定値をクリアしました。

三重工場ダイオキシン測定データ(2007年度)

項目	規制値	測定値
排ガス (ng-TEQ/m3N)	10	0.015
排水 (pg-TEQ/L)	10	0.012
焼却残渣 (ng-TEQ/g)	3	0.000006
飛灰 (ng-TEQ/g)	3	0.076

も引き続き監視測定を定期的実施する計画です。過去に地下水の塩素系溶剤の濃度が基準を上回ったことのある平塚製造所は、現在も曝気浄化処理を継続中です。